

2020年12月2日(水)第1水曜祈祷会

詩篇86:1~17

「私の心を一つにして」

■義は天から見下ろして(85:1~13) \*「シューブ」…繁栄を元どおりにする、帰ってきてくださる

- ・「主よ、あなたはご自分の地に恵みを施し…」 → ( )からの解放を喜ぶ
- ・「帰ってきてください。私たちのところに…」 → イスラエルの( )を取り戻してください
- ・「聞かせてください。主である神の仰せを。」 → 人で声はなく、確かな神の( )を待ち望む
- ・「義は天から見下ろします」 → 義( )、まこと( )。人の態度に対する神の関係。

1. あわれみを求める祈り(86:1~11)

- ・「主よ、耳を傾けてください」 → 主が( )の祈りを聞いてくださるという確信。
- ・「私は苦しみ、貧しいのです」 → 自分の窮状を正直に告白している。( )。
- ・「あなたのしもべ…私の神」 → 神との契約関係( )を強調。神の(恵み)に信頼する。
- ・「苦難の日に…答えてくださるから」 → 祈りの根拠は( ) (ヨハネ14:14)。
- ・「あなたの御名をあがめます」 → 神の( )を認め、へりくだって服従する姿を表す。
- ・「私の心を一つにしてください」 → 御名を恐れる(信頼する)ことに集中する。( )。

2. 希望を確信する祈り(86:12~17)

- ・「わが神、主よ。…とこしえまでも…」 → 神への( )と( )をささげる生涯を告白する。
- ・「…よみの深みから救い出してくださいからです。」 → 神との( )の回復を意味する。
- ・「高ぶる者ども…横暴な者の群れ」 → 神に( )とせず、詩人の命を( )者たち。
- ・「あなたはあわれみ深く、情け深い神」 → 神の限りない( )。怒るのに遅くは神の( )。
- ・「御顔を私に向け…お救いください」 → 神との( )。あなたのしもべを救ってください。
- ・「いつくしみのしるし」 → 救いが( )こと。霊的に助けられ、支えられている姿を表す。

◎まとめ:「私の心を一つにして」について

- ・祈りとは何か。信仰者はなぜ祈るのか。
- ・祈りの出発点は何か。邪魔する(妨害する)ものは何か。
- ・祈りがもたらす最大の祝福(ゴール)は何か。

「ですから、あなたがたに言います。あなたがたが祈り求めるものは何でも、すでに得たと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」 (マルコ11:24)

「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

(ヨハネ16:33)